

学校運営計画 (4月)			評価 (3月)	
学校運営方針	(教育目標)	次代を担う人間として志を持って意欲的に学び、自律心と思いやりの心を持つとともに、地域や社会の発展に貢献するたくましい人間を育成する。		
	(運営方針)	(1) 社会が求める総合的な人間力をもった人材の育成 (2) 明確な目標設定とそれを実現するための教科指導・道徳指導の充実とコラボレーション (3) 「時を守り、場を清め、礼を正す」を中心とした生徒指導の徹底 (4) 「スポーツの三瀬」を中心とした更なる学校全体の活性化と発展 (5) 「チーム三瀬」を合い言葉に、生徒と職員、PTA・同窓会及び地域が一体となった教育活動の推進 (6) 「オンリー三瀬」を合い言葉に、ここでもっとも得意な教育活動の推進 (7) 創立100周年に向けた、新たな魅力ある学校づくりと積極的な広報活動の推進		
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標	
学習指導、生徒指導、美化活動、施設整備等により教育環境が整い、生徒達は充実した学校生活を送っている。また、主体的に活動できる生徒を育成するために、生徒会活動・ボランティア活動の活性化にも取り組んできた。特に部活動においては「スポーツの三瀬」にふさわしい素晴らしい実績を残した。また、和太鼓部の地域のお祭りや行事において行う演奏は好評である。本年度は、進路指導とキャリア教育を充実させると共に、昨年度立ち上げた広報部を中心に地域や中学生に本校の魅力を十分に伝えていきたい。		「創る・福のメソッド」の考えを継続して推進する。 (1) 学力向上 (生徒の実態把握、授業改善「含AL・ICT」と分ける授業の実践) (2) 進路実現・キャリア教育の充実 (3年間で見通した具体的な体系的な実践) (3) 豊かな心を持った自立した生徒の育成 (時間厳守・清掃の徹底・挨拶の励行) (4) 魅力ある学校づくりの研究・推進 (地域に根ざした「三瀬高校」の実現に向けて、学校全体で取り組む) (5) 「スポーツの三瀬」の充実(「する・観る・支える・極める」生徒の育成) (6) 広報活動の充実と推進(広報の創意工夫・HPの改善・情報発信)	生徒の実態把握に努めると共に、生徒の学習意欲を高め、個々の学力向上を目指す。 ・アクティブラーニング等の授業改善、言語活動やICTの活用等により生徒の学習意欲を高める。 ・生徒一人ひとりの進路実現を目指すと共に、教育活動全体を通してキャリア教育を充実させる。 ・基本的な生活習慣の充実を図り、主体的に活動できる生徒を育成する。 ・自尊感情の醸成と人権教育を推進する。 ・地域における行事に積極的に参加すると共に、地域の方が参加できる学校行事を行い地域との交流を活性化を図る。 ・地域の行政機関や大学と連携し本校が地域興しの一端を担う。 ・スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上と学校全体の活性化と充実発展に努める。 ・健康教育と安全教育を推進する。 ・学校のホームページや三瀬ニュース、三瀬連絡を充実させ、本校の教育活動の積極的な広報に努める。 ・中学校訪問を活性化し学校全体で生徒募集に努める。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	
特色ある学校づくり	地域に根ざした学校づくりの推進	地域の行事に積極的に参加すると共に、PTA、地域を巻き込んだ学校行事を成功させる。 地域行政や大学と連携を図り地域発展に貢献する。		次年度の主な課題
	「スポーツの三瀬」を中心とした魅力ある学校づくりと活性化を進める	する・観る・支える・極める「スポーツの三瀬」、「オンリー三瀬」の推進と効果的なスポーツ教室等を展開する。 魅力あるカリキュラムを実践し、生徒の学力向上と進路実現を図る。		
教務企画部	新しい指導法の研究を通じた授業の充実	各教科でアクティブ・ラーニングを活用した指導法や教材について研究する。 全職員でアクティブ・ラーニングを活用した効果的な授業を実践するための授業研究に取り組み、全職員がアクティブ・ラーニングを活用した授業に対する理解と技能を高める。 観点別評価の効果的活用 学習に対する興味・関心を高めるために、観点別評価に基づく授業改善に努め、各科目において授業の満足度80%以上を目指す。 課題を工夫し家庭学習の充実を図る 新たな学びに対応できる家庭学習課題を充実させ、1日当たり60分以上の家庭学習時間の定着を目指す。		
	授業規律の継続と推進	日常の授業の予習・復習に対する指導、査問問題や学習課題を絡めた学習指導と観点別評価をさらに推進し、生徒の学力と意欲の向上を図る。 全職員の共通理解のもと、チャイムと同時に授業が開始・終了できるようにし、落ち着いた学習環境づくりを推進する。 生徒の授業評価を活用しながら、50分授業に耐えうるわかる授業の研究を推進し、欠点者を出さない教科指導を実現する。		
	諸行事の計画と円滑な実施	他分掌との連携を密にし、早い段階から具体的な実施計画を提示できるように努める。 各学校行事の反省や記録を詳細にまとめてデータ化し、申し送り事項として次年度の行事計画に有効活用できるようにする。		
	生徒保健部	生徒会・各種委員会生徒を主体的に活動させ、魅力ある学校行事(地域中学生が参加する行事含む)を推進する。 「地域の中の学校」として、各学期の地域ボランティア活動や地域行事(城島まつり、酒蔵開き等)に積極的に参加し、地域に根ざした学校づくりを行う。 週単位で部活動や生徒会・各種委員会による朝の挨拶運動を行い、活気ある学校づくりを行う。 1年生の全員部活動加入をもとに部活動加入率80%以上を継続し、部活動の充実並びに更なる活性化を図る。		
交通安全指導の徹底	登下校中の事故防止並びに交通安全に対する意識・態度を向上させる。 PTA生活委員会と連携し、登下校指導(3回)や郊外補導(2回)を推進する。通学マナー、危険箇所等の情報を共有し、生徒の交通事故防止に努める。 交通安全教室(講話・実技講習含む)を開催する。また、自転車及び原動バイクの安全点検等を通じて、生徒の交通安全に対する意識を喚起する。			
保健	生徒保健委員会を充実させる。 不規則な生活習慣による、保健室利用の生徒への対策を行う。 保健室での休息1時間(原則)を徹底させる。 検診等の結果を分析し生徒の健康の保持増進に務める。	「保健だより」の内容を創意工夫し健康や安全への関心を促す。(月1回発行) 全校集会や学年集会以健康管理について注意を促したり、校外研修会の内容を発信したりする。 保健室での休息1時間(原則)を徹底させる。 検診等の結果を分析し生徒の健康の保持増進に務める。		
健康・安全	いじめ、不応生者の早期発見、早期対応を行う。 学年会を通して、全職員に保健室を利用する生徒の状況の情報を提供し、共通理解を図る。 生徒美化委員会を充実させる。 美化委員による美化コンクールを行い環境整備と美化の徹底を図る。(学期に1回) 清掃活動の積極的な取組を行う。 破損している掃除道具の処分や不用の道具を整理する。ゴミの分別(食堂のゴミ)と持ち帰りを徹底させる。 日々の清掃をきちんと行う習慣をつける。大掃除に重点目標を設定する。	保健室利用状況を、毎日関係職員に連絡することによって、いじめや不応生者の早期発見・早期対応を図る。 学年会を通して、全職員に保健室を利用する生徒の状況の情報を提供し、共通理解を図る。 生徒美化委員会と協力して、トイレの利用の仕方や食べ歩き禁止などマナー向上について啓発する。 美化委員による美化コンクールを行い環境整備と美化の徹底を図る。(学期に1回) 破損している掃除道具の処分や不用の道具を整理する。ゴミの分別(食堂のゴミ)と持ち帰りを徹底させる。 日々の清掃をきちんと行う習慣をつける。大掃除に重点目標を設定する。		
進路指導	進路指導の充実を図る。 学習に向かう姿勢の更なる向上 生徒の主体的な学習活動を導くアクティブ・ラーニングやICTを活用した学習指導を行い、進路目標が達成できるだけの学力をつける。 チャイム席など基本的な学習準備を生徒に徹底させると共に、生徒の学習状況の把握を把握しひとつ上の達成目標を設定することで、学習に対する積極性を高めさせる。	学力を高め、最後まで粘り強く受験する生徒を育てることを目指した指導を行う。 部活動の実績を活用した進学について体育科との連携を図る。 学力の伸張を測るとともに、進路希望に合わせた課外の在り方を工夫する。 3年間で全生徒が1つ以上の資格を取得するものとし、1年間でべ300以上の合格を達成する。 F I N Eシステムを活用した模擬試験の分析を行い、職員間で情報を共有する。 12月までに全員の受験を完了し、12月連続内定率100%を達成する。 インターンシップの実施と充実 インターンシップの参加人数を増やし、インターンシップ報告会を実施する。 外部講師によるマナー講座を実施し、課外では一般教養充実講座を行う。 3年間を見通したキャリア教育計画を作成し、職員間で共通認識を持つ。 総合的な学習の時間や三瀬学を活用し、社会の中で自分の役割を果たしていこうとする生徒の育成をめざす。 7月の三者面談で活用できるように作成し、進路学習の充実につなげる。		
就職指導	内定率100パーセント 言語運用力養成とマナー力向上			
キャリア教育	学年主任間の連携を図る。 各学年の課題を共有化し、問題解決の方策を検討し、実行していく。			
広報部	三瀬高校の魅力と特徴が伝わる広報誌を作成する。 毎月本校の教育活動が具体的に伝わる三瀬ニュースを、定期的に作成する。 部活動の活躍などの不定期なトピックスを伝える三瀬速報を、タイムリーに作成する。 各部担当者からの情報アップのシステムを実働させ、HPの更新につなげる。 広報部のHP担当者によるHP更新状況のチェックを、1週間に一度は実施する。	普通科一般の魅力と特徴が伝わる学校案内を作成する。 毎月本校の教育活動が具体的に伝わる三瀬ニュースを、定期的に作成する。 部活動の活躍などの不定期なトピックスを伝える三瀬速報を、タイムリーに作成する。 各部担当者からの情報アップのシステムを実働させ、HPの更新につなげる。 広報部のHP担当者によるHP更新状況のチェックを、1週間に一度は実施する。		
広報活動の活性化	ホームページを充実させる。 保護者や同窓会と連携した広報活動を実施する。			
中学校対策の強化	中学校との信頼関係の構築をめざした中学校訪問を実施する。 毎月1度は広報誌等を持って中学校を訪問し、中学校教員との信頼関係を築く。 訪問先の中学校出身の生徒の情報を具体的に伝え、本校のきめ細やかな指導を中学校側に理解してもらう。			
報道機関への取材依頼の強化	中学生に三瀬高校の良さを知ってもらう。 報道機関への取材依頼の回数を増やし、また、依頼時期を早くする。 報道機関の力を広報活動に活用する。	進路相談事業や中学生体験入学で本校生徒の活躍の場を増やし、本校の明るさ、雰囲気の良いさを中学生に感じてもらう。 本校の学校行事に中学生を招待し、本校の魅力を中学生が体感する場を作る。		
スポーツ文化コース	オンリー三瀬を実現するための魅力開発を行う。 ボランティアなど地域との連携を図る。	生徒主体のスポーツ文化コース集會等を学期に1回以上行い、スポーツ文化コースのリーダーを育成していく。 修学旅行でのスポーツ交流を成功させ、広報の一助とする。 競技会ボランティアなど「支えるスポーツ」を経験させ、職業観を養うとともに地域へ積極的にアピールしていく。		
魅力開発	重点6競技の実績向上を図り、「スポーツの三瀬」を県内外にアピールする。 生徒の体力強化を組織的に行う。	全国大会30名・九州大会60名以上の出場を果たすと同時に、チーム競技の実績向上を図る。 スポーツ文化コース設置校として誇れる施設設備の充実を図っていく。 各部顧問の連携・協力で、組織的な体力・意識の向上を図っていく。		
競技力向上	生徒の意向にそった進路保障を実現させる。	3年担任と各部顧問が協力し、三年生の意向にそった進路実現を目指す 生徒の進路実現を念頭に置き、模擬試験および課外の方策を、学年・教務・進路と検討しながら次年度に繋げていく。		
進路実現	組織的・計画的な広報活動を実施する。	中学校との連携強化を推進するため、中体連大会視察を密に行う。 各部ともホームページ更新を確実にし、最新の情報を配信していく。 近隣中学校や地域へのサポート事業を積極的に推進していく。		
生徒確保				